

# さあ行こう

挑戦するのに  
遅い、早いはない  
大切なのは行動に  
移すこと



宮城県

訓練開始直後から約半年間、彼女たちを追ってきた。隊員全員が仕事を持つ社会人。それぞれが、仕事との折り合いをつけながら、週2回以上午後7時から9時までの訓練を約半年間続けてきた。また、隊員10人のうち6人が既婚者。仕事以外にも家族の面倒を見ながらの取り組みであった。女性の社会参画が当たり前になってきたとはいえず、隊員たちには相当な苦労があったはず。彼女たちの取り組みには頭が下がる。

全国大会直前の訓練で、その支援に来ていた市消防団登米支団の秋山光穂さんは「彼女たちの取り組み姿勢は素晴らしい。仕事や家庭を持ち、そちらと訓練日程の調整だけでも大変なはず。体力的にも、精神的にも疲れているはずなのに笑顔絶やさず努力している。そしてひたむきに努力している。だから、ほとんど素人だった彼女たちが、(上位入賞を狙える)ここまで伸びてきたのだらうね。彼女たちを見てみると協力したくなるんだよ」と語っていた。

2011年、ドイツワールドカップで女子サッカー大國アメリカとの激戦を制し優勝した、サッカー日本代表女子チーム「なでしこジャパン」。彼女たちが、身体的に不利な相手にも物おしせず、ひたむきにプレーする姿は、東日本大震災後の日本に勇気と希望を与えた。世界一に輝いたその後も挑戦を続け、12年ロンドンオリンピック、15年カナダワールドカップで準優勝と輝かしい成績を残した。

なでしこジャパンと登米市女性消防隊員には共通点がある。それは「挑戦」すること。なでしこジャパンは、女子サッカー黎明期から「世界一」を目標に挑戦し続けてきた。そして、世界の頂点にたどり着いた。しかし、目標を達成してもそこで終わらず、新たな目標に向けて、挑戦を続けている。

女性消防隊員たちは、家庭や仕事を持ちながらも、全国大会に挑戦をした。人はある程度の年齢になったり、現状では厳しいと思ったりして、新しい挑戦をあきらめることが多い。しかし、彼女たちは教えてくれた。何かに挑戦することは、年齢や状況であきらめなくていい。大切なのは「できるか、できないか」と考えるのではなく「やるか、やらないか」で行動に移すこと。全ては自身の気持ちの持ち方一つだということ。

あなたも女性団員に入団キャンペーン



消防団の活動には、火災や災害への対応のほか、応急手当の普及、高齢者住宅への防火訪問、防火防災教室の開催などがあります。この活動の担い手として女性団員が期待されています。

県では、平成28年1〜12月、女性消防団員入団キャンペーンを実施。期間中入団した人には、協賛企業からのプレゼントを贈ります。この機会にぜひご入団を。

【入団資格】18歳以上で市内に居住、または勤務している女性

【キャンペーン問い合わせ】

宮城県総務部消防課消防班

☎022(211)2373

【入団問い合わせ】消防本部

消防課(消防団係)

☎0220(22)1901

安全・安心に向けて消防団出初式を開催



市民の安全・安心を願うとともに、訓練や行進を通じ、力強い消防団の姿を披露します。皆さんのご来場をお待ちしています。なお、午前7時20分にサイレンを鳴らします。火災などと同様ではないよう、ご注意ください。

【日時】平成28年1月10日(日) 午前9時〜11時

【会場】消防防災センター

【内容】観閲行進、式典、消防訓練、消防防災センターの開放など

※消防防災センター前の市道は、午前8時50分から9時30分まで通行止めになります。ご協力をお願いします。

※当日は、災害時の対応として各町域に消防団員が待機しています。

【問い合わせ】消防本部警防課(消防団係)

☎0220(22)1901